

はじめに

本市では、「ひと・まち・自然にやさしい高梁」を都市像として掲げ、市民の皆様のご意見を賜りながら、安心して暮らすことができる地域づくりに取り組んでおります。

その中でも、保健・福祉・医療の充実は誰もが求めているところであり、将来に向けた本市の発展を図るためにも、ニーズの把握に努めることは勿論のこと、高齢者を取り巻く状況を踏まえつつ社会・経済情勢に応じた効果的な施策を講じていく必要があると考えております。



本計画は、高梁市総合計画の基本方針の一つである「心のつながりを大切に 支えあい 助けあう 安心のまち」の実現を目的とするもので、本市の高齢者保健福祉施策の指針として、「高梁市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画」【2018年度（平成30年度）～2020年度（32年度）】を策定いたしました。

今期の計画では、高齢者の人口が減少傾向となる一方で、増加する認知症高齢者や認知介護、老々介護がさらに顕著となることを踏まえ、高齢者の保健福祉施策の基本的な方向性として、高齢者が可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じ、いきいきと元気に暮らしつづけることができるよう、介護予防の推進を全体目標に掲げるとともに、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用しながら介護サービスの確保と、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の深化・推進が喫緊の課題であるとの認識のもとに施策展開の方向性を示すなど、2025年度（平成37年度）までの中長期的な視野に立った内容といたしました。

今後、本計画の実施にあたっては、市民の皆様や関係団体、民間事業者の方々のご理解とご協力をいただきながら、「心のつながりを大切に 支えあい 助けあう 安心のまち」の実現に向けて努力してまいりますので、皆様方のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました「高梁市介護保険事業計画推進委員会」委員の皆様をはじめ、調査等へのご協力をいただいた高齢者の皆様並びに貴重なご意見・ご提言を賜りました市民の皆様、関係各位に対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

平成30年 3月

高梁市長 近藤 隆 則